

重要文化的景観 田染荘小崎の農村景観

古代、国東半島は6つの郷から形成され、そのうち半島の西側に当たる田染郷には11世紀前半に田染荘の村落及び農地が開発されました。その後、田染荘は宇佐神宮の「本御荘十八箇所」と呼ばれる荘園のひとつとして重視され、田染氏を名乗る神官の子孫が代々支配するようになります。

小崎地区は小崎川中流域にあたり、史料・絵図に残る村落名・荘官屋敷名と現地に遺存する地名・地割・水路等との照合により、14世紀前半～15世紀における耕地・村落の基本形態が現在の土地利用形態にほぼ継承されていることが知られています。



※重要文化的景観とは

平成17年に文化財保護法の改正により、「地域における人々の生活又は生業及び当該地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」を文化的景観として定義づけられました。この文化的景観のうち、文化財としての価値に照らし、特に重要なものを「重要文化的景観」として選定します。

千年の時を刻む水田は
現在も中世荘園集落の姿を色濃く残しています
あぜ道の花や小川のせせらぎが
稲穂の輝きや木々を渡る風が
私たちに懐かしい唄を聞かせ
四季折々の景色を楽しませてくれます
田染荘小崎は訪れる人々すべてのふるさとです

豊後高田市教育委員会

〒872-1101

大分県豊後高田市中真玉 2144 番地 12

TEL 0978-53-5112 (代表)

FAX 0978-53-4731

国重要文化的景観

田^た染^し荘^ぶ小^の崎^しの^よ農村^う景^ら観^ま

小崎地区の四季

春



夏



秋



冬



金毘羅から望む景色



御田植祭 (6月)



ほたるのタペ (6月)



収穫祭 (10月)

0 1km 2km



豊後高田市 田染荘の 文化財



富貴寺大堂 (国宝)



真木大堂9舩 (国重要文化財)



元宮磨崖仏 (国史跡)



鍋山磨崖仏 (国史跡)



熊野磨崖仏 (国史跡・国重要文化財)



シコナ④⑬



水田や屋敷を地域の人々が呼び習わした通称、俗称。小崎地区には、「雨引新田」「ヒガシ」「イワノハナ」「ヒワオサ」など、多くのシコナが残っています。

灌がい①②⑬



小崎地区の水田は、数十メートル一つの割合で堰が設置され、他の地区と比較すると際立って多いと言えます。中でも「山ノロイゼ」「赤迫イゼ」「フロノモトイゼ」の位置は、中世から変わらないことが推定されます。また、基本的には用排水兼用の水路を保ち、田の畔を切って水を隣の田に流す田越し灌がいも行っています。

間戸岩屋⑬



小崎地区と隣の間戸地区をさえぎるようにそびえ立つ間戸岩屋には、「朝日岩屋」「夕日岩屋」「障子岩」「地下足袋岩」「線香岩」「徳利岩」「釣鐘岩」などの名前がつけられ、住民に親しまれている多くの岩峰があります。また、「金毘羅」からは台菌の集落や水田を一望することができます。

夕日岩屋⑬・朝日岩屋⑬



六郷山寺院に繋がる岩屋。夕日に赤くそまる夕日岩屋には、石造地藏菩薩坐像2体・石造観音立像・木造尊名不詳立像等が安置されています。朝日を迎える朝日岩屋には、洞穴前に堂宇があり、石造観音立像・木造観音立像・尊名不詳仏像数体等が安置されています。

長野観音寺跡⑬



田染氏の菩提寺で文献には宝陀寺(臨濟宗、杵築市大田)の末とみえます。寺跡には天正9年(1581)「宗方」銘宝塔、天正11年(1583)「息雲」銘墓碑、天正14年(1586)「妙口」銘墓碑、その他五輪塔5基が残っています。

雨引社③



台菌の鎮守。祭神は天水分神、国水分神。天保14年(1843)銘石鳥居がある。日照りのときでも雨引社から湧く水は涸れることなく、周囲の田を潤したと伝えられ、ここから田染荘小崎の水田開発が始まったと伝えられます。

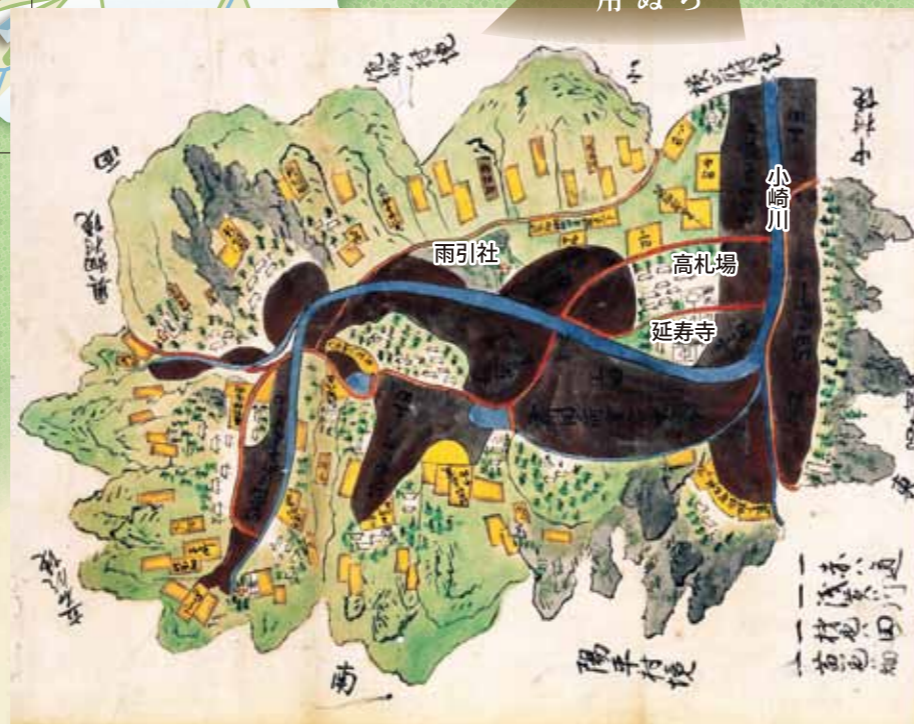
- ①灌がい「山ノロイゼ」
- ②灌がい「赤迫イゼ」
- ③雨引社
- ④シコナ「雨引新田」
- ⑤田染家古墓
- ⑥台菌集落「飯塚屋敷」
- ⑦土塁「飯塚屋敷土塁」
- ⑧台菌集落「尾崎屋敷」
- ⑨延寿寺
- ⑩土塁「尾崎屋敷土塁」
- ⑪田染荘史料「おさきのミたう」
- ⑫台菌集落「かとのいやしき」
- ⑬台菌集落「為延屋敷」
- ⑭田染荘史料「ミスミはたけ」
- ⑮シコナ「ヒガシ」
- ⑯灌がい「フロノモトイゼ」
- ⑰間戸岩屋(金毘羅)
- ⑱夕日岩屋
- ⑲朝日岩屋
- ⑳長野観音寺跡

「台菌」集落



ほたるの館
WC P

中世から
変わらぬ
土地利用



田染組小崎村絵図

千年の時を刻む

田染荘小崎探訪

「台菌」集落⑥⑧⑬⑭



台菌には、鎌倉時代末期まで「尾崎屋敷」、「飯塚屋敷」、「為延屋敷」の3つの屋敷群や「かとのいやしき」などの屋敷があり、中世鎌倉時代まで遡る屋敷地割、石造物など伝統的な集落景観を残す事例として極めて珍しい集落です。また、田染組小崎村絵図の家の数などから小崎村の中心集落であったことがわかります。

田染家古墓⑤



イヅカの一角に設置される前期田染氏の墓地。墓地には五輪塔数基と、「春翁」という銘と人物像を彫刻した石造物があります。

延寿寺⑨



延寿寺(浄土真宗)は、1644年に田染氏(宇佐氏)が居をかまえた居館跡に相原村から移転しました。境内には、田染氏が居館を構えた時代を示す遺物として、宇佐栄忠の名が刻まれた石殿(県指定)、石造物、土塁が残されています。

土塁⑦⑩



「尾崎屋敷土塁」「飯塚屋敷土塁」など中世鎌倉時代まで遡る屋敷地割を表す土塁が現在でも良好な形で確認できます。

田染荘史料⑪⑭



田染荘にまつわる史料が600点ほど確認されています。この中には沙弥妙覚田畠配分状、鎮西下知状などがあり、小崎にまつわるものも多く残されており、屋敷ならびに畠地として「おさきのミたう」、「ミスミはたけ」などの記述が確認されています。

高札場

豊後国田染組小崎村絵図には「御札」として描かれ、明治時代初期まで村の規則などを墨書きし掲示していた場所と推定されます。